

## お知らせ

令和4年11月18日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政記者クラブ・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

# さとうみフェスタ2022を開催します 『海から始まる、未来の話をしよう。』

「さとうみフェスタ」は、広島湾の魅力を発信し、広島湾への市民や企業等の関心を高めるとともに、広島湾さとうみネットワークの取り組みを広く知ってもらうために2019年から開催しています。

今回は「海から始まる、未来の話をしよう。」をテーマに、里海・里山の保全・再生活動を行っている企業や団体の方々と、広島湾を中心とした未来やその関わり方などについて考えます。

当日は、博多湾を中心に活動されている一般社団法人ふくおか FUN 代表理事の大神弘太郎氏をお招きし、広島湾の今の水中映像から魅力や課題を伝えるとともに、次世代に向けてどう関わっていくかについてお話しいただきます。

■開催日時：令和4年12月4日（日） 13:00～16:00

■開催場所：CLiP HIROSHIMA（広島市中区東千田町 1-1-18）  
なお、オンライン（Zoomで配信）での参加も可能

■内 容：別紙2のチラシ参照

■主 催：広島湾さとうみネットワーク・広島湾再生推進会議・国土交通省中国地方整備局

■申込方法：右記QRコードを読み取ってお申し込みいただくか、下記アドレスまで必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。



E-mail: hwancom@cgr.mlit.go.jp

【必要事項】参加方法（オンラインまたは会場）、氏名、所属（任意）、メールアドレス

■取材申込：取材を希望される場合は、別紙1「取材申込書」に必要事項をご記入の上、事前にお申し込みください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材をされる方は入場前の手指の消毒及びマスク着用をお願いします。また、風邪症状、発熱などの症状がある方は来場をお控えください。

※さとうみ…人手が加わるにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域のこと。

※広島湾さとうみネットワーク…市民、企業、教育機関や行政機関など様々な関係者が連携し、恵み豊かな美しい広島湾を次世代に継承することを目指して設立した組織。

## 〇問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231 (代表) (平日昼間)

【担当】 企画部 広域計画課長 くわ しま ひろ し 桑 嶋 弘 志 (内線3211)

課長補佐 いま だ おさむ 今 田 修 (内線3212)

国土交通省 中国地方整備局  
企画部 広域計画課 鍵本 宛  
申込先 FAX 082-511-6359  
E-mail hwancom@cgr.mlit.go.jp

## 取材申込書

取材を希望される方は、必要事項をご記入の上、上記申込先へFAX又はメールでお申し込みください。

申し込みは、12月2日（金）12：00までをお願いします

令和4年 月 日

会社名・部署名・緊急連絡先（代表電話番号等）
（代表）取材者の役職・氏名・連絡先（携帯番号等）・来場予定人数

### <連絡事項>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材をされる方は入場前の手指の消毒及びマスク着用をお願いします。また、風邪症状、発熱などの症状がある方は来場をお控えください。

オン&オフ  
同時開催!

オンライン(ZOOMウェビナー)参加

限定500名 ※申込  
先着順

会場参加

限定60名 ※申込  
先着順

海から始まる、未来の話をしよう。

# せとらみフェスタ 2022

令和4年12月4日(日)

13:00~16:00 無料

場所:CLiP HIROSHIMA (広島市中区東千田町1-1-18)

※当日、駐車場はございません。お車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。

オンライン参加・会場参加につきまして、どちらも事前申込が必要となります。右のQRコードを読み取ってお申し込みいただくか、参加方法(オンラインまたは会場)、氏名、所属(任意)、メールアドレスをご記入の上、下記のアドレスまでメールでお申し込みください。

申し込み期限 12月2日(金)17:00 申込先:hwancom@cgr.mlit.go.jp 広島湾さとうみネットワーク 検索



### 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

※各自治体のガイドラインをご確認いただき、ご来館をお願い致します。  
※イベントは状況により中止または延期になる場合がございます。  
※入館時には、検温・消毒、体調管理に関する名簿のご記入をお願い致します。  
記入して頂いた個人情報は、目的以外には使用いたしません。

## プログラム

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合がございます。

13:00~ 開会挨拶

13:05~ 基調講演

『ダイバーがとらえた広島湾の今と未来  
~多様な関わりが次世代の海を創る~』

一般社団法人 ふくおかFUN 代表理事 大神 弘太郎氏

14:00~ 休憩

14:10~ トークセッション

### ① 広島湾さとうみネットワークのプロジェクト紹介

- ・山陽女学園プロジェクト
- ・干潟再生プロジェクト
- ・広島湾ブルーカーボン研究会
- ・江田島研修プロジェクト
- ・レジリエンス力強化に向けた  
地域コミュニティ確認ツアープロジェクト
- ・白砂青松の浜づくりプロジェクト



### ② 企業・団体の取組紹介

- ・テレビ新広島 報道部記者 石井 百恵氏
- ・三島食品株式会社 取締役管理副本部長 梶谷 司氏
- ・株式会社エフピコ サステナビリティ推進室 若林 大介氏
- ・JFEスチール株式会社 スチール研究所スラグ・耐火物研究部/広島大学客員教授 宮田 康人氏
- ・公益財団法人 おかやま環境ネットワーク 事務局 高坂 知典氏

### ③ ディスカッション

- 〈テーマ〉「広島湾を中心とした未来やその関わり方などについて」  
(ディスカッションへ参加の方々)
- ・一般社団法人 ふくおかFUN 大神 弘太郎 氏
  - ・広島湾さとうみネットワークのプロジェクトの皆様
  - ・里海・里山の保全・再生活動を行っている企業や団体の皆様

16:00~ 閉会挨拶



ふくおかFUN

代表理事 大神 弘太郎氏



### 【プロフィール】

福岡県福岡市出身。  
大学在学中に訪れた西表島で、人々が島の自然を守るため懸命に努力する姿に感銘を受け、「自然伝承」を人生のテーマに掲げる。その後、ダイビングインストラクターの資格を取得し、25歳の時に「自分自身の目で世界中の自然を体感したい」という想いから、世界各地を渡航する。

コゲギンボ



### 【講演概要】

日常では見ることのできない水中世界には、自然豊かな環境が広がっています。その一方で、様々な問題を抱えていることも現状です。今、広島湾に存在する魅力と課題の両方に目を向け、私たちの生活と海との繋がりを考えます。

アマモ



フェスタの前も、後も! 楽しいイベント盛りだくさん!!

## せとらみフェスタ 関連イベント



### 【パネル展】

広島湾さとうみネットワークのプロジェクトやトークセッションに登場した団体の活動などを紹介!

展示期間:12月4日(日)~9日(金)  
※12月6日(火)は休館日です。

アオウミウナ



### 【特設ホームページ】

広島湾で活動する団体や行政機関の取り組み、生産現場を動画などで紹介!

### 【イベント開催】

・11月27日(日)  
ヒューマンビーチ長瀬(江田島市)での清掃活動  
ほかにも楽しいイベントを企画中!

詳細は広島湾さとうみネットワークHPやfacebook内で随時更新!

※写真は前回イベントの様子



主催 広島湾さとうみネットワーク・広島湾再生推進会議・国土交通省中国地方整備局

お問い合わせ: 広島湾さとうみネットワーク事務局(国土交通省中国地方整備局企画部広域計画課内) TEL/082-221-9231 E-mail/hwancom@cgr.mlit.go.jp





金櫃火山・松山より広島湾・周防大島方面を望む  
撮影：写真家 藤山 功

# 恵み豊かな 美しい広島湾を 次世代へ。



©広島市経済観光局農林水産部水産課



©広島市経済観光局農林水産部水産課



HIROSHIMA-BAY  
SATOUMI  
NETWORK

広島湾さとうみネットワーク  
[hbsatoumi.net](http://hbsatoumi.net)

事務局：  
特定非営利活動法人 瀬戸内さとうみ楽会・  
国土交通省中国地方整備局企画部 広域計画課  
TEL：082-511-6120 FAX：082-511-6359



# 広島湾さとうみネットワークについて

これまで広島湾の保全・再生に向け、行政、民間、NPOなどが取り組んできましたが、海岸に漂着するごみをはじめ豊かな環境や美しい景観の保全など広島湾を取り巻く様々な課題に十分対応できていない状況です。

このため、2020年3月に、官民が連携しながら広島湾における課題に対応し、次世代に恵み豊かな美しい広島湾を継承することを目指して、「広島湾さとうみネットワーク」を設立しました。

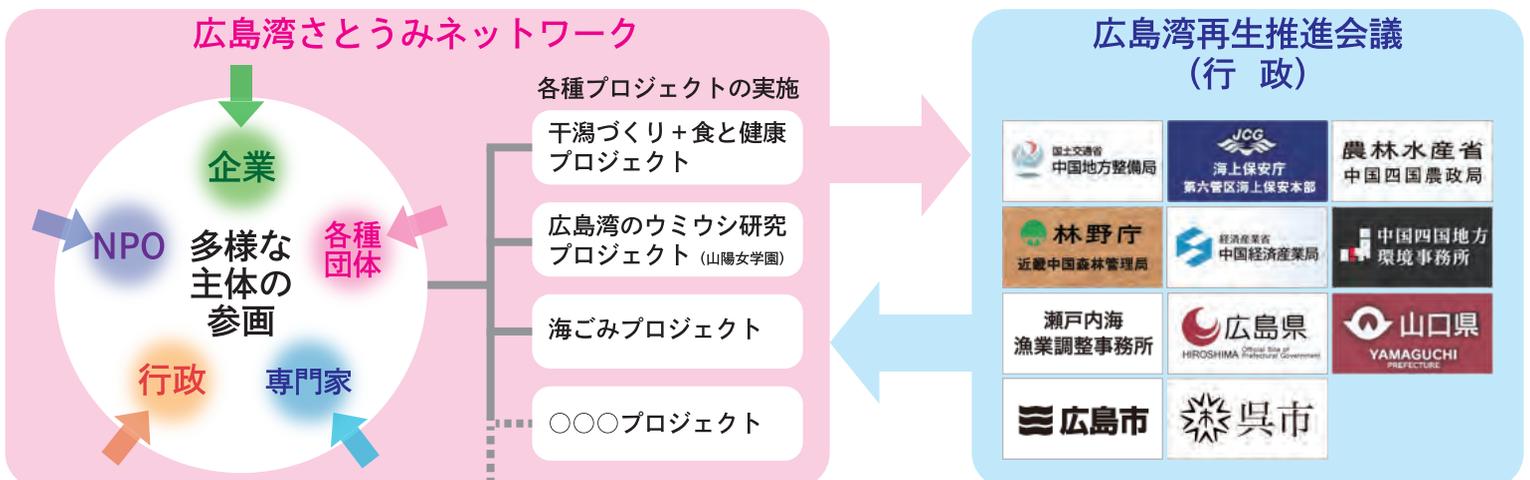
## 目的

私たちは、広島湾を森・里・川・海を一体としてとらえ、多様な生物を育む豊かで美しい海を再生し人々が将来にわたり誇りを持てる広島湾を目指します。また、人と人との交流を通じて、広島湾の保全・再生に人々が関心を持ち、活動へ積極的に参加できるような環境をつくります。



## 体制

行政だけ、民間だけでは実現が困難な取り組みも、お互いが連携することで実現可能にしてきます。



# 次世代に残したい広島湾の魅力

## 命を育む、広島湾。

広島湾には、他ではなかなか見ることができない貴重な生き物がたくさん生息しています。また、森・川・海の距離が近く、それぞれが密接につながる豊かな自然環境は、多くの生き物を育む命のゆりかごとなっています。



ニホンアワサンゴの群生  
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会提供



海藻（アマモ）にひそむメバル



ハクセシオマネキ  
中国新聞社提供



海藻（ガラモ）に集まるメバルの稚魚  
中国新聞社提供



スナメリの親子  
中国新聞社提供

## 美しい多島美や歴史と触れ合う。

広島湾は、島々が美しい多島美を形成しているほか、平清盛の時代から伝わる厳島神社の管絃祭に代表されるように、歴史的資源も豊富に存在しています。

また、穏やかな海では、カヤックやSUP、クルーズなどのマリンスポーツが気軽に楽しめます。



江田島湾  
撮影：写真家 脇山 功



SUP体験



管絃祭

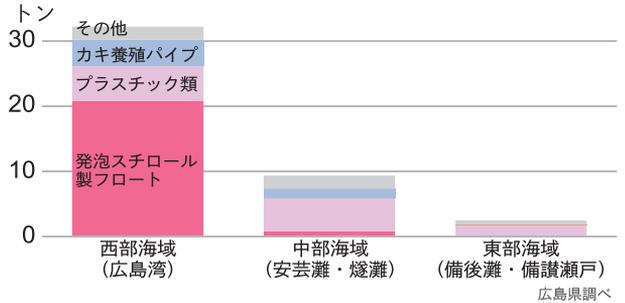


音戸大橋  
呉市観光振興課提供

# 広島湾は今、様々な問題を抱えています。

## 海ごみ

広島湾では、発泡スチロール製フロートや陸域から河川を通じて海へ流れ出たプラスチック類（ペットボトル、ポリ袋など）が漂流して海岸に打ち上げられています。海洋に流出したこれらのごみは分解せず、マイクロ化することで生態系への影響が懸念されています。



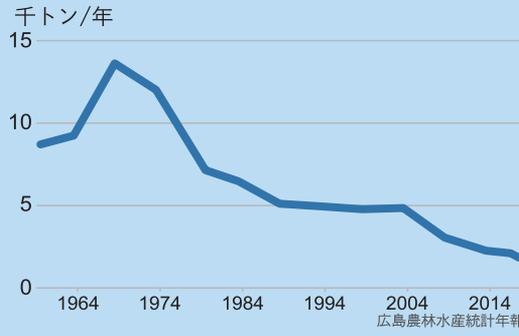
広島県内海岸の漂着ごみ量 (R2年度：年間平均)

## 魚介類

広島湾では海面漁業の漁獲量が減少しています。また、これらの水産資源を育む干潟や藻場も減少しています。魚介類が減少する要因は様々ですが、海底付近で夏場の溶存酸素が少なく、海水中の栄養分が不足していること、アサリを食害する生物が増加していることなどが考えられます。



エイによるアサリ食害跡 (水たまり部分)



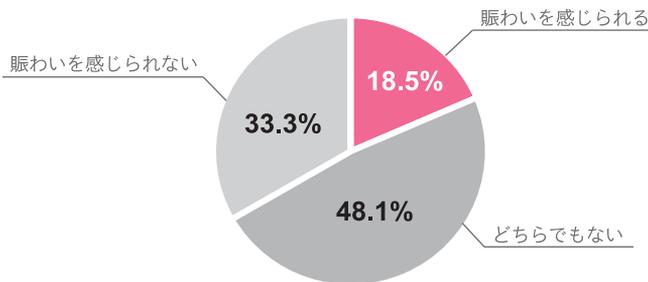
広島湾の海面漁業漁獲量の推移



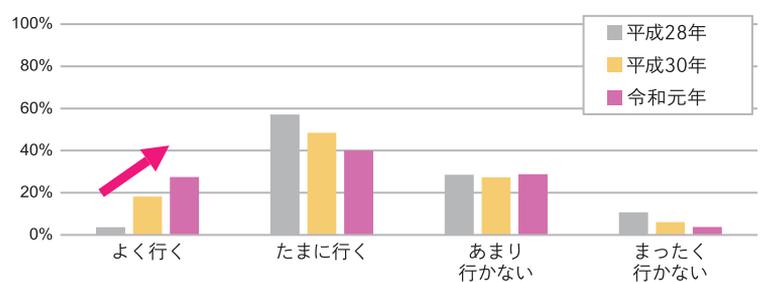
広島湾北部海域の干潟・藻場面積の推移

## 賑わい

市民アンケートの結果によると、広島湾が身近で賑わいのある海になっていると感じている人は多くありませんが、海や川など水辺を感じるところによく行く人は増加傾向にあります。親水空間や賑わい施設においてイベントを開催するなど、きっかけがあれば水辺を訪れる人が増えていくものと考えられます。



広島湾に身近で賑わいを感じられますか？ (令和元年)



広島湾周辺で海や川など水辺を感じるところによく行きますか？

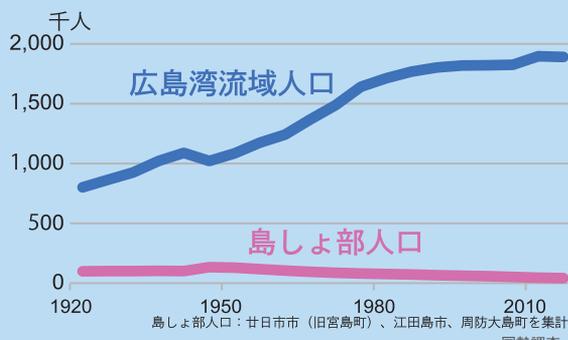
広島湾に対する市民アンケート (中国地方整備局調べ)

## 担い手

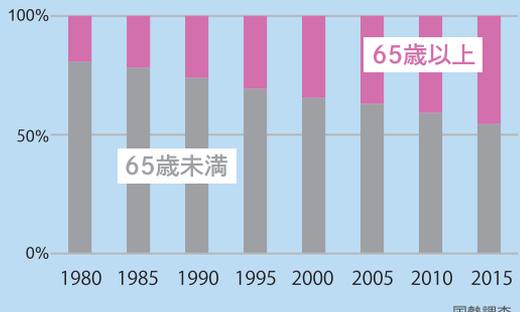
島しょ部や中山間地域では、人口減少・高齢化により広島湾の自然や歴史・文化的資源を保全・継承する担い手が減少しています。担い手が減少すると、里山・里海が荒廃したり、貴重な歴史・文化的資源が失われていくものと考えられます。



森林の荒廃



人口の推移



年齢別人口割合 (島しょ部)

島しょ部人口：廿日市市(旧宮島町)、江田島市、周防大島町を集計。国勢調査

# 広島湾さとうみネットワークの活動

## 美しい自然や歴史・文化的資源の保全

- 市民、漁業者、企業、行政と連携して広島湾の海岸ごみの回収を進めます。
- 教育機関（大学、高校等）や企業と連携してマイクロプラスチックに関する調査研究を進めます。
- 海ごみの現状を知ってもらうためのエコツアーや環境学習イベントなどを開催していきます。



海岸ごみの清掃活動（海ごみプロジェクト）



海底ごみの清掃活動（海ごみプロジェクト）



エコツアーの開催（周防大島町）

## 地域の魅力を活かした賑わいや関係人口づくり

### 関係人口

地域のファン・サポーターとして積極的に関わる人

ボランティア

PR活動

地域づくりに参画



イベントの開催（さとうみフェスタ）



農業ボランティア活動

- 市民、企業、行政等がコラボした地域活性化のためのプロジェクトやビジネス、イベントを実施します。
- 担い手不足の地域との交流会やボランティア体験などを通じて、関係人口づくりを進めます。
- 広島湾さとうみネットワークホームページなどを活用することにより、人と地域のマッチングを進めます。

交流会やボランティア体験などを通じて、人と地域をマッチング

### 交流人口

観光などで訪れたことがあってもほとんど関わりがない人

関係人口づくりのイメージ

## 豊かな海の実現

- 市民、漁業者、行政等と連携してアサリ養殖場の整備など干潟再生を進めます。
- 広島湾の海の幸のブランド化や、海の幸を使ったお弁当などの商品化の検討を進めます。



漁業者との協働による干潟整備（干潟再生プロジェクト）

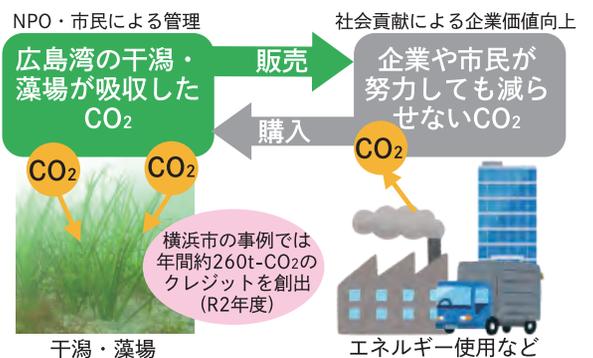


さとうみ弁当の商品化（食と健康プロジェクト）

### トピックス

#### ～カーボンニュートラルの実現に向けて～

藻場等の保全活動実施者により創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとして認証し、CO<sub>2</sub>削減を図る企業・団体等がクレジットを取引する「ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度」が近年導入されるようになってきています。



# 広島湾さとうみネットワークの 取り組みへの参加

## 企業による参加(他地域の事例紹介)

恵み豊かな美しい広島湾を次世代に継承することはSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みにもつながります。参加しやすい形で、一緒に広島湾さとうみネットワークの活動に取り組みませんか。

### 広報イベントや環境学習などの先進事例

市民、漁業者、行政と企業が連携して、広島湾の環境問題や魅力を知ってもらうための環境学習を開催します。

また、広島湾さとうみネットワークの取り組みに関心を持ち参加してもらえるように、市民に対する広報イベントを開催します。

(企業の協賛、企業によるブースの出展など)



出典：CIFER・コア

NPO法人と企業の連携により開催された、「大阪湾 海辺の教室」の様子です。

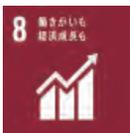


出典：東京湾大感謝祭実行委員会

「東京湾大感謝祭」では、企業による個性あふれる展示も多く行われています。(ペットボトルを回収するリサイクリング)

### CSR活動・福利厚生

企業CSR活動の一環として、森林整備・海岸清掃などのボランティア活動を行ったり、社員のリフレッシュやモチベーション向上につながるよう広島湾をフィールドとしたレクリエーションを行います。



出典：山口県提供資料

山口県では、CSR活動の一環として、森林づくりに取り組む企業が増えています。



企業の福利厚生の一環として、広島湾を楽しめるシーカヤック・SUP体験などを企画・実施していきます。

### 新たなビジネスの創出・地域活性化

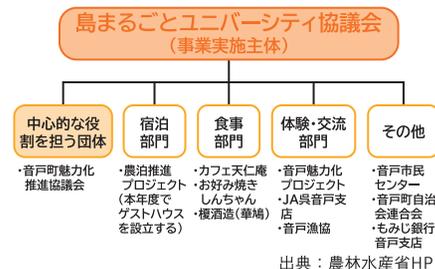
広島湾さとうみネットワークに参加している多様な主体と連携することで、環境再生のためのビジネスの創出や技術開発を行います。

また、地域活性化のための取り組みも行います。



出典：ひろしまサンドボックスHP（広島県）

江田島湾では産官学が連携して、IoT・ICT技術によるかき養殖の生産効率化のための実証実験が進められています。



出典：農林水産省HP

呉市音戸町の地域住民・企業等が町全体を学びの場とする「島まるごとユニバーシティ」を設立し、地域課題を解決するための体験プログラムづくり等を行っています。

### CO<sub>2</sub>の削減と豊かな海づくり

市民団体、NPO法人、漁業者が連携して干潟・藻場の再生や保全活動を行うことで、豊かな海づくりやブルーカーボン<sup>※</sup>生態系によるCO<sub>2</sub>削減に貢献します。

※) ブルーカーボン：沿岸域の藻場等で取り込まれた炭素。CO<sub>2</sub>の吸収源の新たな選択肢として注目されています。



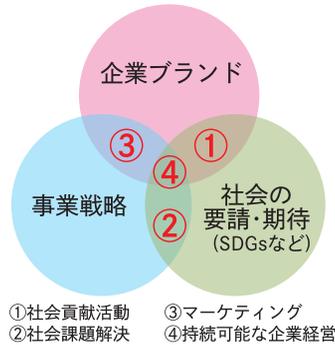
出典：関東地方整備局港湾空港部

横浜港 金沢区鳥浜地先では、藻場の保全活動の実施者（NPO法人、漁業者等）により創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとして認証し、CO<sub>2</sub>削減を図る企業等とクレジット取引を行うブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の試行が進められています。（ジャパンブルーエコノミー技術研究組合による「Jブルークレジット」の試行実施）

# 参加によるメリット

## 企業ブランディング

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、地域とのつながりを大切にして環境問題にも積極的に貢献しているなど、社会の要請・課題に対して貢献している企業ブランドのイメージアップや新規事業の拡大につながる事が期待されます。



## SDGsへの貢献

各国、地域だけではなく、企業にもSDGs（持続可能な開発目標）への積極的な関与が求められています。

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、SDGsに積極的に取り組む企業であることをアピールできます。



## 新たな交流／社員モチベーション向上

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、様々な人や団体との交流が生まれ、企業のPRになるだけではなく、新たなビジネスにつながる事が期待されます。

また、社会貢献活動やレクリエーションなどに参加することで、社員のモチベーション向上にもつながります。



## 具体的な取り組み事例

### ～豊かな海づくりとCO2削減への貢献～

企業が広島湾の干潟・藻場の保全活動に参加することで、豊かな海づくりやCO2削減に貢献するのみならず、社会貢献による企業価値の向上につながる事が期待されます。



## 一緒に活動していただける企業様を募集しています。

広島湾さとうみネットワークの事務局にNPO法人が加わり、令和3年4月より、実質的な官民連携組織として活動を始めました。広島湾の保全・再生に向けた取り組みへの応援をよろしくお願いいたします。

### 特典例：ホームページへの企業バナー掲載

広島湾さとうみネットワークのホームページは、地域の皆様をはじめNPO法人、行政機関、学校関係者、漁業関係者、研究者など様々な方にご覧いただいています。企業バナーの掲載により、広く一般の方々にPRすることができます。

### 特典例：SDGs、社会貢献企業として登録

取り組みに積極的にご参加いただいている企業に対して、広島湾さとうみネットワークがSDGs、社会貢献企業として登録し、ホームページやイベント等を通して広くPRさせていただきます。

### 特典例：マッチング・活動フィールドの提供など

広島湾の保全・再生に関する取り組みを実施する際に、必要に応じ専門家や地域の活動家、行政機関とのマッチング、活動フィールドの提供などを実施させていただきます。

### 特典例：学識者による技術サポート

カーボンニュートラルの実現に向けた藻場の創出やCO2吸収量の算定などの専門的事項については、学識者によるサポートをさせていただきます。

### 特典例：協賛イベントの開催

イベント等に協賛いただける場合は、広報チラシやイベント看板などに企業名を掲載し、PRさせていただきます。



広島湾さとうみネットワーク ホームページ  
(企業広告バナー掲載可)